

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																2020年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	9	12	18	15 (16)	8
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7	8
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	4	2	0	2 (4)	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3	9

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第6週(2月3日~2月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1				4		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	1	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
五類全数	14	アメーバ赤痢	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3					2		1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		梅毒	6			1		5		
		百日咳	1							1
		風しん	1	1						

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

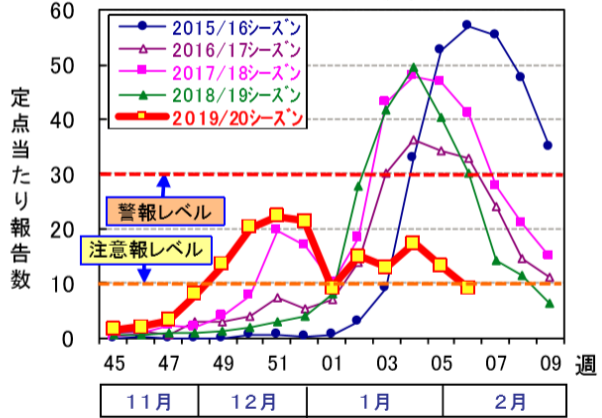
1. インフルエンザ

定点当たり9.16人の報告があり、前週と比べてやや減少しましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は13件報告されています。
 小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますため注意が必要です。

2. 梅毒

5件の報告があり、今年の累計は15件(男性9件、女性6件)となりました。
 梅毒は、早期に治療をすれば完治しますが、治療せずに放置すると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や奇形が起こることがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	339	9.16	37.79	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.32	
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.16	◇	眼科	RSウイルス感染症	11	0.46	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	2.89	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	161	6.71	6.92	◇	基幹	流行性角結膜炎	7	0.88	0.48	
	水痘	17	0.71	0.46	▲		細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.19			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	10	0.42	0.31			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.14	
	突発性発しん	5	0.21	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.54			

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい □ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	12	女性(10歳未満)、女性(50歳代)、男性(80歳代)、男性(90歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	男性(50歳代)、女性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	男性(70歳代)
5	梅毒	5	15	男性(20歳代)・3人、男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・推定感染地域: 国外・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.6) 咽頭炎 鼻炎	29	女	2019/12/25	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(38.3) 上気道炎	32	不詳	2020/01/06	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 痒痒感	60	男	2019/12/16	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 上気道炎	39	男	2019/12/24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	腹痛	6	不詳	2019/12/27	糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	腹痛	4	男	2019/12/31	糞便	アストロウイルス
その他の消化器疾患	嘔気 下痢	0	男	2020/01/03	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腹痛	1	女	2020/01/04	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.2)	0	男	2019/11/20	糞便 鼻汁	ハレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載